



駅サイトエコノミクス

班員 高橋 透仁 マクデイド 延那
尾崎 洋輔 田尻 晃太郎

指導者 五反田 先生



◎研究の動機

延岡駅の再開発による利用者数・観光客数がどのように変化したのか。また、他の駅の再開発の事例と比較することでさらなる改善点を見つけられるのではないかと考えたため。

◎先行研究

- 群馬県立高崎高等学校の「北陸新幹線開通前後の観光客数の変化」というテーマの研究では、入込数が増加する観光地の数が減少し、その後も北陸新幹線開通前よりも増加することはなかった。
- 地方都市における駅前開発が中心市街地に与える影響という論文では、宮崎駅の開発において、交通量の増加などとともに経済効果の乏しさなど、改善点も見受けられた。

◎仮説

駅が改修・再発展することにより、駅利用者が増えることで経済の再復興が望めるのではないかと考えた。

◎研究方法

- 駅の再開発の例をインターネットなどで調査する。
- 詳細なデータを市役所等から聞き込み調査する。

◎結果

～現在の延岡市の現状～
インフラが整備され、大型ショッピングモールへのアクセスが良くなり、百貨店が廃業に。
少子高齢化により10万人都市へ。
延岡駅の再開発は駅利用者数の増加や駅施設内でのイベントによる市民同士のコミュニケーションの増加に繋がり、駅施設内での人の滞留が生まれた。また、駅周辺でも空き店舗が埋まるなどの影響があった。

●駅での市民活動の変化

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
来館者数	1,283,337人	1,136,417人	699,530人	936,094人	916,175人
【市民活動】開催回数	536件	641件	401件	550件	758件
【市民活動】登録回数	127件	70件	36件	54件	55件
【市民活動】参加者数	6,499人	5,731人	2,597人	5,423人	8,078人
【自主企画事業】開催回数	258件	280件	198件	272件	290件
【自主企画事業】参加者数	7,679人	6,576人	3,313人	6,940人	8,381人

表より駅の再開発によって環境整備が完了した平成30年と比べ、一時新型コロナウイルス感染拡大により減少したが駅の利用量は増加してきている。
駅周辺ではマンションの増加などが挙げられ、町中の人口は増加傾向にある。

しかし課題はいまだ多く、他の地域では人口減少が問題になっていること、大きなイベントの効果は一時的であること、駅に隣接した商店街からの魅力発信が足りないこと、利用者の年齢層が若者に偏ってしまっているなどが例として挙げられている。

◎調査2

他の県での駅の再開発はどのようなものがあり、どのような取り組みを行っているか。また、取り入れられることはあるか

◎調査結果2

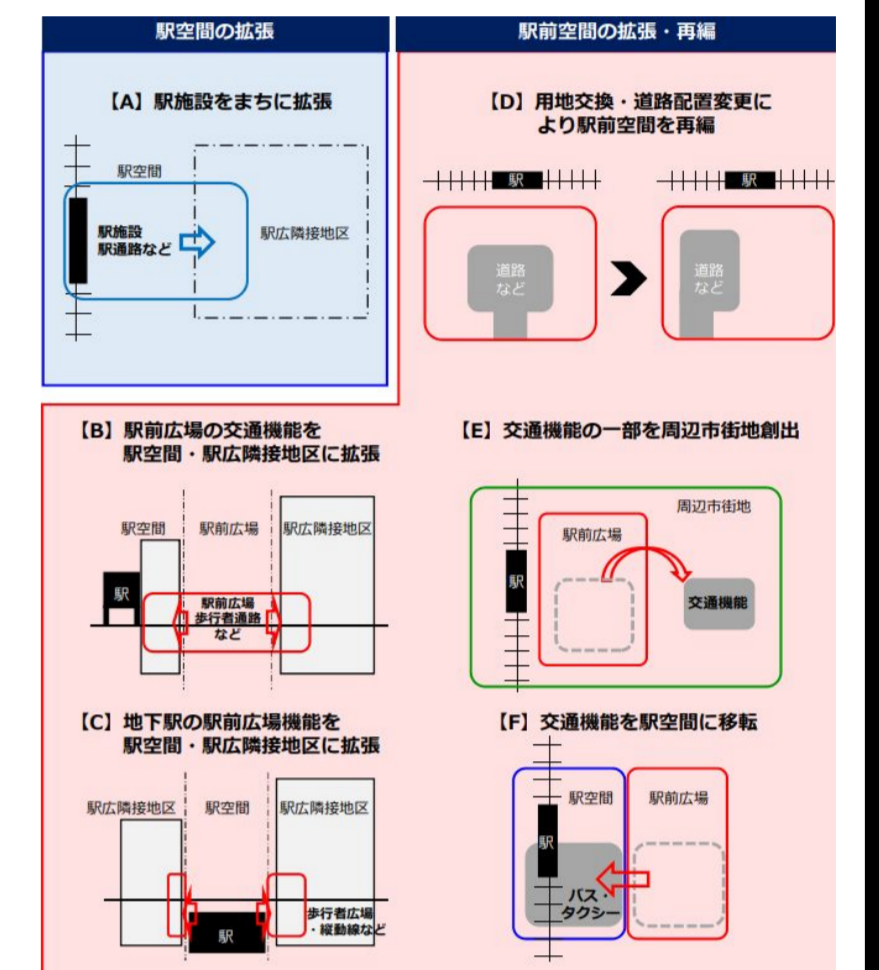
種類別の駅空間再構築

<駅空間の拡張>

- 駅施設を町に拡張する。

<駅前空間の拡張・再編>

- 駅広場の交通機能を駅空間に拡張
- 地下駅の駅前広場機能を駅空間に拡張
- 用地交換・道路配置再編
- 交通機能の一部を周辺地域に創出
- 交通機能を駅空間に移転



他の地域の駅での例

都市部

博多駅 → 歩行者空間・デッキなどを駅前広場から駅空間に移動、用地交換によって歩行者空間を創出。

郊外・地方中核都市

たまプラーザ駅 → 駅前広場に会った主要な施設を駅空間に移設線路上空を活用し、対流空間を創出。

地方都市

日向市駅 → 駅空間に高架下道路を組み込み、交流拠点広場を隣接地区に移設。土地区画整理事業による歩行者空間を創出。



◎考察

調査結果より、ただ、駅の改修、商業施設の増築ではなく、地域や環境に沿った再開発を行うことで、多くの利用者が訪れ、経済復興に繋がるのではないかと考える。

◎謝辞

研究に協力して下さったアドバイザーの水永様、街づくり延岡代表取締役黒木様に厚くお礼申し上げます。

◎参考文献

- 群馬県立高崎高等学校 3年「市区町村と観光の関係」
https://www.jstage.jst.go.jp/article/ajq/2023s/0/2023s_124/article/-char/ja/5/29 閲覧
- J-STAGE 地方都市における駅前開発が中心市街地に与える影響
<https://drive.google.com/file/d/1qM9LMq9LxJQ-oGAJ7ms8kZXJ8PpP-Fsm/view?usp=drivesdk>
- 令和2年7月国土交通省 都市局 街路交通施設課 駅まち再構築事例集
<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001352055.pdf>

